

2024年10月15日（火）【外為L a b】松田哲

タイトル：【衆院選公示】

本日（2024年10月15日）、衆院選が公示された。

石破首相は、衆院選の勝敗ラインを与党（自民党と公明党）での過半数獲得、と判断したようだ。

今回の衆院選挙は、「自民党の裏金問題」が大きなテーマになっており、自民党に強い逆風がかかっている。

個人的には、この「自民党の裏金問題」は許しがたい。

せめて、国税庁の調査を入れて、裏金に追徴課税をかけるべきだ、と考えるが、国会議員は、修正申告で、特にペナルティは無い様子だ。

一般国民への対応と全く異なる、と、憤りを感じざるを得ない。

こういった感情は、一般国民の感情と同じだろう、と考えます。

今回の総選挙が、自民党にとって、厳しいのは当然の帰結と考えます。

+++++

しかしながら、野党は、政権交代を目標にしているものの、その野党共闘は、はかばかしく無い。

そもそも、本当に政権交代を目指しているのか疑わし野党も存在する、と考えます。

それぞれの小選挙区での立候補者の調整は、時間不足で、十分な調整が出来ておらず、野党の候補者が乱立すると、票が割れる可能性がある。

そうすると、与党（自民党と公明党）にとっては有利に働くのは明らか。

それは、野党の「時間切れ」を狙って、早期解散に踏み切った、石破新政権の思惑通り、と言えるのだろう。

+++++

そもそも「自民党の裏金問題」は、安倍政権が長期に渡ったことが、大きな原因のひとつだ、と考えている。

長期政権は、不正の温床になり易い。

イギリスのジョン・アクトンの言葉で、有名な金言がある。

以下の通りだ。

「権力は腐敗する、絶対的権力は絶対に腐敗する」

+++++

今回の総選挙の結果は、見通し難い。

果たしてどのような結果になるにしても、「腐敗した権力」を浄化できるような新しい体制になって欲しいものだ、と考えています。

+++++

+++++

(2024年10月15日東京時間15:15記述)